

「みんなでクルマをつくる」ための正しい法規解釈に関する取り組み

エンジン認証不正問題により、お客様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様に多大なご迷惑をおかけしておりますことを改めて深くお詫びいたします。

二度と不正を起こさないよう、すべての礎となる企業理念「HINO ウェイ」に則り「3つの改革」を推進しています。再び社会への責任を果たしていくために、まずは経営層が意識を変え、覚悟を持って率先垂範し、「経営」「組織風土」「クルマづくり」における改革を愚直に真摯に続けてまいります。

今回の問題については、すでに特別調査委員会や国土交通省からさまざまな原因についてのご指摘をいただいております。これらに加えて当社でも問題が起きた原因についての分析と検討を続けてまいりました。その中で、「法令に関する知識の不足」や「法規・ルールの動向を把握して内容と影響を社内に展開する仕組みが弱いこと」について改善の必要性を改めて認識しています。自動車関連法規情報を把握・理解・共有し、プロセスやリソースといった開発全体に与える影響を会社として検討することは、特別調査委員会から提言のあった「みんなでクルマをつくる」こと的前提であり、二度と不正を起こさないための改革における重要な要素のひとつと考えています。具体的には以下の内容に取り組んでいます。



■多部門からなる「自工会技術チーム」発足と正しい法規解釈の仕組み化

日本自動車工業会（自工会）の各部会・分科会活動の中でも技術系の活動に参加し最新の法規動向をキャッチアップしているメンバーに加えて、法規認証、品質保証、渉外、開発等多岐にわたる部門のメンバーから構成される日野独自の「自工会技術チーム」を発足しました。

法規や制度が軽視され最新の法規情報が社内で適切に扱われていなかったという問題に対し、自工会における技術系の活動を集約し、法規に関する情報収集および社内展開するための体制を整えます。チーム全体で法規をタイムリーかつ正しく解釈し、商品戦略や開発プロセス等に取り込んでいきます。

■法規に特化した外部研修を実施

法規の理解促進のため、車両の法規体系といった概念論から実際の各試験法・完成検査までの内容について外部講師を招いた研修を実施しています。法規関連業務にかかわる全部署が受講対象で、研修は全13回のプログラムを予定しており、4回終了時点で延べ2,500人が受講しました。

一人ひとり、一つ一つの仕事が社会と密接に繋がっていることを深く心に刻み、二度と不正を起こさず、社会への責任を果たしていくことを目指してまいります。また、改革の進捗につきましても随時皆様へお知らせいたします。

以上

関連リンク：

[【公表情報一覧】エンジン認証に関する当社の不正行為および「3つの改革」について](#)